

【連続公開セミナー@立教大学】

岩波文庫から刊行中の吉川一義氏による

新訳で プルーストを 読破する

第1回「スワン家のほうへⅠ」

2017年10月21日（土）14:00-16:00

立教大学池袋キャンパス 本館1202教室

ゲスト **吉川一義** 氏（京都大学名誉教授）

司会 **坂本浩也**（立教大学教授）

失われた時を求めて

1 スワン家のほうへⅠ

プルースト作
吉川一義訳



岩波文庫

主催 立教大学文学部文学科フランス文学専修

問合せ先 学部事務1課（03-3985-3392）

proust.rikkyo@gmail.com

Twitter [@proust_rikkyo](https://twitter.com/proust_rikkyo)

申込不要・入場無料。

テキスト（プルースト作・吉川一義訳『失われた時を求めて』第1巻「スワン家のほうへⅠ」岩波文庫、2010年）を通読して、ご持参ください。





プルースト・マラソンへの招待

長大かつ難解な作品として名高いプルーストの小説『失われた時を求めて』。

小説が好きなのに、「いつか読んでみたいと思っているけれど、たぶん読破できないとあきらめている古典」のアンケートをとってみれば、まちがいをなく上位を占める作品でしょう。

その夢を現実にする連続公開セミナーが、この秋、立教大学でスタートします。

企画の発端にあるのは、岩波文庫から刊行中で、いよいよ完結が見えてきた、吉川一義氏による新訳です。講義で第1巻をとりあげると「**ハリ・ポッターしか読んだことのなかった私でも最後まで読めました!**」と学生が感激。同僚で芥川賞作家の小野正嗣さんからも「どうしてあんなに読みやすいの?」ときかれて、「**トルストイみたいに読めるでしょ**」というのと、激しく同意されました。ダイレクトに心に響く訳文。この新訳ではじめて『失われた時を求めて』にふれる読者には嫉妬してしまいます。

吉川訳は、日本語の散文としての達成であると同時に、学術的な偉業でもあります。

草稿研究のパイオニアであり、『失われた時を求めて』における絵画への言及を精査した吉川先生（京都大学名誉教授）が、国際的なプルースト研究の中心であることは周知の事実です。

岩波文庫版には、膨大な研究の蓄積とあらたな調査の成果が、**オリジナルの訳注と貴重な図版**として数多く収録され、作品世界の正確な理解を助けてくれます。

訳者あとがきは周到かつ新鮮な指摘にあふれ、どの巻にも発見があります。

連続公開セミナー「新訳でプルーストを読破する」は、**全14回**の計画で、**岩波文庫版を毎回1巻ずつ**とりあげます。**1ヶ月半から2ヶ月の間隔**をおき、**土曜日の午後**に**池袋キャンパス**で開催の予定。2019年に見込まれている**全巻完結**を祝う機会も訪れるでしょう。

文学に関心のある学部生や、大学院生だけでなく、社会人生活を送るかたわら読書会などに参加している（参加したいと考えたことのある）小説好きのかたや、退職後の愉しみに古典を再発見したいと思っているかたなど、**どなたでも出席できます**。

申込不要、入場無料。

出席者へのお願いは「**テキストを事前に読み、当日は自由に語りあってほしい**」ということだけです。

「公開セミナー」とは、正解を伝授する「講義」でもなければ、一方向的な「講演会」でもなく、専門家だけの「研究会」でもありません。参加者が、ざっくばらんに個人的な感想を語りあい、疑問点を論じあい、自由で新しい読みの可能性を開くための場にしたいと考えています。

「**美しい書物においては、あらゆる誤読が美しい**」とプルースト自身が述べています。このセミナーを、無数の「美しい誤読」が飛び交う空間にすることが、発案者であり、司会をつとめる私の願いです。

さらには、専門家が「研究」の制約を忘れて、虚心に読書体験を語る場にもなってほしい。

セミナーには、毎回**ゲスト講師**をお招きします。いわゆるプルーストの専門家とはかぎりません。学術的な知見を紹介するだけでなく、むしろゲスト個人の思い入れのある場面や登場人物、意外な「誤読」や「妄想」的な解釈までふくめて、プルーストの楽しみかたを語っていただきたいと思っています。

初回（10月21日）は、訳者である**吉川一義先生**ご本人をお迎えし、あらためて第1巻の魅力に迫ります。参加者の質問や疑問にも答えていただきます。

第2回（12月9日）は、「恋愛小説」「姦通小説」を手がかりにヨーロッパ文明論を展開するいっぽう、コレットの高級娼婦小説『シェリ』の名訳者として知られる**工藤庸子先生**（東京大学名誉教授）をお招きし、「スワンの恋」のヒロインであるオデットの造型などについて再考する予定です。

できるだけ多くのひとと、語りあいながら読み進めていけることを願っています。

2017年7月

坂本浩也（立教大学教授）

問い合わせ ☞ proust.rikkyo@gmail.com

Twitter [@proust_rikkyo](https://twitter.com/proust_rikkyo)